

利益計画の立てかた(※消費税を含まない金額＝税抜き金額で計画します)

	(例)単位:万円
売上高	3,000
売上原価(変動費)	
仕入高	900
外注費	
限界利益	2,100
経費(固定費)	
① 役員報酬	840
② 従業員給与	450
③ 法定福利費	170 (①+②)×13%
④ 地代家賃	180
⑤ 減価償却費	30
⑥ 支払利息	24
⑦ その他	180
損益	226

- ① 社長をはじめとする取締役や監査役などの給料
- ② 社員やパート、アルバイトの給料や賞与
- ③ 厚生年金や健康保険の保険料は、会社と本人とで半額ずつ負担することになります
従業員の労災保険や雇用保険料の会社が負担する金額

これらは、役員報酬と従業員給与の10%強となります
- ④ 建物や駐車場、土地の賃貸料
- ⑤ 減価償却費とは、機械やコピー機、エアコンなどの価値の減少額のことです
機械やコピー機は、購入した時には全額は経費になりません
法令で定められている年数に配分して、経費とします
(ただし、1台の金額が10万円未満のものは、購入した時に、その全額を経費とすることができます)

★「減価償却をする年数」は、ここをクリック
- ⑥ 金融機関などから借入をした場合の、利息
- ⑦ リース料、光熱費、通信費、消耗品費、会計事務所に委託する場合の顧問料など

必要売上高の計算方法(※消費税を含まない金額＝税抜き金額で計算します)

- ① 粗利益率(＝限界利益率)を見積もる

売上金額から、仕入金額と外注金額を差し引いた残りは、何%くらいか?を見積もる

$$\text{算式} = \frac{\text{粗利益(売上 - 仕入 - 外注費)}}{\text{売上}}$$

- ② 経費(固定費)を見積もる

役員報酬
従業員給与

法定福利費
家賃
減価償却費
支払利息
その他
計

- ③ 目標とする利益を決める
※社長の報酬(役員報酬)は含めないで決めます

- イ 会社に蓄えたい税引き後の利益
ロ イの金額を確保するために必要な、税引前の利益

- ④ 赤字とならないために最低限必要な売上高の算出

$$\text{算式} = \frac{\text{②必要経費(固定費)}}{\text{①粗利益率(=限界利益率)}}$$

- ⑤ 目標とする売上高の算出

$$\text{算式} = \frac{\text{②必要経費(固定費)} + \text{③目標利益}}{\text{①粗利益率(=限界利益率)}}$$

(例)

- ① 粗利益率(=限界利益率)を見積もる

売上金額から、仕入金額と外注金額を差し引いた残りは、何%くらいか？を見積もる

$$\frac{3,000 - 900}{3,000} = 70\%$$

- ② 経費(固定費)を見積もる

役員報酬	840
従業員給与	450
法定福利費	170
家賃	180
減価償却費	30
支払利息	24
その他	180
計	1,874

- ③ 目標とする利益を決める
※社長の報酬(役員報酬)は含めないで決めます

- イ 会社に蓄えたい税引き後の利益
300万円
ロ イの金額を確保するために必要な、税引前の利益
 $\frac{300\text{万円}}{1 - \text{税率}30\%(\text{注})} = 428\text{万円}$

(注)税率は、上記の「税金の計算のしかた」の税率から推計します

- ④ 赤字とならないために最低限必要な売上高の算出

$$\frac{\text{経費(固定費) 1,874万円}}{\text{粗利益率 (=限界利益率) 70\%}} = 2,677\text{万円}$$

⑤ 目標とする売上高の算出

$$\frac{\text{②必要経費(固定費) 1,874万円} + \text{③目標利益 428万円}}{\text{粗利益率 (=限界利益率) 70\%}} = 3,289\text{万円}$$